

事務事業	312301 狭山市駅東口土地区画整理事業
事業区分	実施計画事業 施策体系 312310 中枢拠点の整備
区分	必要性 非常に高い 効率性 非常に高い
	方向性（第一次） 現行どおり 改善、効率化の内容 方向性（第二次）
対象	狭山市駅東口地区 16.2ha

事務事業目的	狭山市駅東口地区 16.2haについて、都市計画道路などを整備し、住居系、商業・業務系の調和のとれた良好な市街地環境の形成を図ります。
事務事業内容	土地所有者等から土地等の面積等に応じて、少しずつ土地を提供(減歩)していただき、道路、公園等公共施設を整備することにより残りの土地(宅地)の利用価値を高め、健全な市街地とする事業を行っています。
実施形態	直営
成果指標	土地区画整理地内の土地利用（使用収益開始率） 令和元年度実績：100%
活動指標	（活動指標1）狭山市駅東口土地区画整理事業の進捗率 （活動指標2）道路整備（道路整備延長） 令和元年度実績：

事業コスト計算

事務事業費予算額	7,903,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.91 人
事務事業費決算額	738,012 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.85 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	7,903,000 円	直接事業費	738,012 円
人件費	15,742,992 円	人件費	6,873,443 円
総額	23,645,992 円	総額	7,611,455 円

見直し実績		
事業評価	内部要因 外部要因	計画的にまちづくりを進めることができる。
	必要性	狭山市総合振興計画後期基本計画で、主な取り組みとして、狭山市駅東口地区土地区画整理事業が位置づけられている。
	効率性	区域内の道路の築造や整地などハード面の工事が完了し、権利者の土地利用が進んでいる。
	方向性	平成30年度に換地処分の公告、不動産登記、清算交付金事務が終了しており、清算徴収金の分割徴収事務を行い、事業の完了を目指す。

事務事業	312313	入曽駅周辺整備事業（総合戦略事業）		
事業区分	実施計画事業	施策体系	312320 地域拠点の整備	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	市民（権利者）			

事務事業目的	入間小学校跡地及びその周辺の土地を活用し、入曽駅周辺の安全対策及び利便性の向上を図ります。
事務事業内容	入間小学校跡地及びその周辺の土地を活用した入曽駅周辺の安全性や活性化に資する土地利用と施設整備のありかた等を調査、検討し、入曽駅周辺の整備を実施します。
実施形態	一部委託
成果指標	設定なし 令和元年度実績：
活動指標	（活動指標 1）関係機関との協議調整 令和元年度実績：

**事業コスト計算**

事務事業費予算額	88,169,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	3.12 人
事務事業費決算額	81,501,000 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	5.44 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	88,169,000 円	直接事業費	81,501,000 円
人件費	25,716,300 円	人件費	43,990,038 円
総額	113,885,300 円	総額	125,491,038 円

見直し実績	基本計画の内容を事業の進捗に合わせて一部変更し、より実現可能性の高い計画とした。	
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）交通の安全性や利便性などが確保された快適に暮らせるまちづくりへのニーズが高まっている（強み）計画的にまちづくりを進めることができる
	必要性	第4次狭山市総合計画の施策にある「地域拠点の整備」に事業内容が合致しており、事業の必要性は高い。
	効率性	基本計画に沿って関係機関と連携して一体的な整備が出来る。
	方向性	駅周辺の地域課題の早期解決のため、効率的に事業を進める。